

<p>●過去1～2年の主な活動</p> <p>2014年 「子ども・子育てプラザ」にて「ふるまいそばとそば打ち体験」を実施。 天満敬老会でのボランティアそば打ちを実施。 天五中崎商店街にて、無料そば打ち体験。 季節の「旬」を味わう会、東北支援の食と日本酒の会など実施。 地産地消の会、奈良県大和郡山市にて「胡麻栽培」、八尾市にて「筍掘り」を実施。</p> <p>2015年 毎月の「親子そばうち教室」事業を実施。</p> <p>●代表者の略歴・活動実績</p> <p>1984年～関西のテレビ業界で広く情報を発信。 演出家として民間放送連盟賞やギャラクシー賞など各賞受賞。</p> <p>2009年～地域のボランティア活動に参加。 2010年～食を通して未来を考える「フードラボ」を設立。 2012年～NPO法人フードラボの理事長就任。</p>				
2014年度の法人の総収入		915,645 円	内、行なった事業から得た収入 (187,028) 円	
2016年度の法人の事業及び収支予算について(注2)	主な事業 (JTへの申請事業については、「今回申請事業」と記載して下さい。) 1. 毎月定例「親子そばうち教室」事業。 2. 「子ども・子育てプラザ」にて「ふるまいそばとそば打ち体験」事業。 3. 「地産地消大阪野菜普及の会」事業。 (大阪の食材を使った健康レシピの開発) 4. 「子どもそば打ちビデオ教材」の開発事業。 (わかりやすく手軽に出来るそば打ちをビデオで学べる教材) 5. 「"そば育"で地域社会に未来を」事業。(今回申請事業) ソバの種蒔きから食べるまでを体験(内容は企画書の通り)			
	(収入)		(支出)	
	会費	530,000 円	材料費	300,000 円
	寄付金等	890,000 円	事業費(人件費)	600,000 円
	助成金	1,495,000 円	事業費(人件費以外)	895,000 円
	事業収入	510,000 円	管理費(人件費以外)	1,133,200 円
	その他	100,000 円	その他	596,800 円
	計	3,525,000 円	計	3,525,000 円

(注2) 法人全体の事業と収支予算についてご記入ください。申請事業についての記入は書式1-4にあります。

JT NPO助成 申請事業 企画書

事業名 「そば育」で異世代交流・地域活性化事業								
背景と目的	<p>●事業実施の背景(地域社会が抱える課題・ニーズ) (300字以内) ※300字を超えた文字入力をする、入力内容が消えてしまいますのでご注意ください。</p> <p><都会の過疎化> よく地方の過疎化問題が叫ばれていますが、都会にも、人と人の繋がりや世代間交流に関する「文化的・精神的な過疎」が存在します。コミュニティーの細分化により、ご近所や隣人との「おつきあい」は減少し、世代間のコミュニケーションも分断されています。</p> <p><子育て支援と高齢者協働> 仕事に追われる親御さんも多く、親子で一緒に何かを体験する時間も限られており、子ども達がご老人と接する機会も少ないのが現状で、「キャンプなどの大がかりな事でなく、身近で気軽に出来る事があれば…」「子供に、お年寄りの知恵に触れさせたい」とよく耳にします。我々の活動が課題克服への一翼を担えればと思っております。</p> <p>●事業の目的 (300字以内) ※300字を超えた文字入力をする、入力内容が消えてしまいますのでご注意ください。 親子でそばを打ち、そこから”日本の食文化”を学び、守り、継承。 人と人との心を繋ぐ食育「そば育」を目指す。</p> <p>本活動を通して、子供たちに、生命の大切さ・生きるための工夫・先人から伝わる技術・心遣いといった「日本人ならではの感性」を体験して欲しい。また、お年寄りから教わったり、逆に、子供達から大人に教えたりする、そんな相互的な「共育」も、「そば育」の特徴。そば打ちは、粉代や道具が高価で、どうしても敷居の高く「頑固オヤジの趣味」というイメージを持たれがちで、体験したくても敷居の高かったのですが、当活動により、OLさんが仕事帰りに手ぶらで気軽に「そば打ち」出来る環境を整えたいと思います。</p>							
	<p>●事業の概要 (誰が、誰に、何を、どういう方法で実施するのか?)</p> <table border="1"> <tr> <td>誰が</td> <td>特定非営利活動法人フードラボが 行政や他団体との協働で</td> <td>誰に</td> <td>地域の子供を中心にした 老若男女を対象に</td> </tr> <tr> <td>何を</td> <td colspan="3">ソバの、種蒔きから収穫、粉挽き、そば打ちという行程を通して、日本伝統の食文化を学び、異世代交流や「日本人として大切なモノ」を継承してゆく事業を行います。</td> </tr> </table> <p>”そば”で繋がる笑顔の輪！子供達の笑顔が、町を、社会を、国を創る！</p> <p>「そば打ちには人が出る」「打ち手の人生が見える」とよく云います。つまり、「そばを打つ」という行為の中には、単に食材を調理する以外に「人生にとっての大切な事柄」が沢山含まれているというのです。</p> <p>子ども達と共に、ソバを育て、粉を挽き、麺にして、食す。これらの行程を通して「日本の食文化を守る食育」＝「そば育」を展開し、地域や社会の、明るい未来を目指します。</p> <p>また、当地域は、新設のマンションが多く、町としての「人の繋がり」が希薄です。古い民家に住む人達とマンション族の人達との交流があまり活発ではなく、故に子ども達の交流も分断されているのが現状です。</p> <p>当活動を通して、より多くの人々が、触れあう機会が増え、会話が生まれ、共に活動して行く中、「新たな人の繋がり」や「輪」が発生するキッカケになればと思っております。</p> <p>また、「子連れのママ・パパも一緒に愉しめる環境を！」をテーマに、親子が共に楽しくそば打ちを学び、異世代の方々と触れあい、さらには、出来上がったものが晩ご飯になってしまうという、気軽にお得な“一石三鳥”の活動です。</p>	誰が	特定非営利活動法人フードラボが 行政や他団体との協働で	誰に	地域の子供を中心にした 老若男女を対象に	何を	ソバの、種蒔きから収穫、粉挽き、そば打ちという行程を通して、日本伝統の食文化を学び、異世代交流や「日本人として大切なモノ」を継承してゆく事業を行います。	
誰が	特定非営利活動法人フードラボが 行政や他団体との協働で	誰に	地域の子供を中心にした 老若男女を対象に					
何を	ソバの、種蒔きから収穫、粉挽き、そば打ちという行程を通して、日本伝統の食文化を学び、異世代交流や「日本人として大切なモノ」を継承してゆく事業を行います。							
事業概要	<p>●申請事業の特性(該当する項目の番号左横に●印を付けてください)</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 申請者が以前から実施している事業と同一の継続事業</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2. 申請者が以前から実施している事業を改善・発展させた事業</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 申請者が2016年度から新規に取り組む事業</p> <p>★上記で「2」を選択した場合の改善・発展させた内容←</p> <p>今までは、ご近所の方々の口コミによる活動でしたが、申請事業により、更にその対象枠を広げ、</p>							

より多くの方々に参加して頂けるようにしたいと思います。また、使用する道具も、これまでは会員有志からの賃借物で、その都度、借りてまわり、搬入撤収しておりましたが、今申請により、専用の道具や、今までは金銭的に入手困難だった機材の購入なども可能になるかと思えます。それにより、より安全でスムーズに活動が出来るようになり、今まで困難だった開催日の拡充も可能になると思えます。

(次ページに続く)

書式1-2 (単年・複数年助成 共通)

助成期間	<p>●希望する助成期間(該当する項目の番号左横に●印を付けてください)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 1年間の助成</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 複数年の助成 () 年間 ※上限3年まで</p> <p>※複数年助成を希望する場合は、その詳細について2年目以降の事業概要等(書式1-3)にもご記入下さい。</p>																								
	<p>●事業実施期間(開始日～終了日※西暦)</p> <p>開始日 2016年 4月 1日 ~ 終了日 2017年 3月 31日</p> <p>●事業実施体制(協働団体、提携団体、ボランティア、役割、人数を記載して下さい。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>役割</th> <th>人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 北区子ども子育てプラザ</td> <td>「300人ふるまい蕎麦・親子そば打ち体験」共催</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>2 和泉蕎麦倶楽部</td> <td>そば打ち体験・ソバ栽培などの協働</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>3 NPO法人農の里</td> <td>ソバ栽培などの提携/ボランティア</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>4 NPO法人 泉北そば打ち普及の会</td> <td>そば打ち指導・そば粉製粉などの協働</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>5 綿利製粉</td> <td>そば打ち指導・そば粉製粉などの協働</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>6 関西みやこ蕎麦遊会</td> <td>そば打ち指導・そば粉製粉などの協働</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>					団体名	役割	人数(人)	1 北区子ども子育てプラザ	「300人ふるまい蕎麦・親子そば打ち体験」共催	20	2 和泉蕎麦倶楽部	そば打ち体験・ソバ栽培などの協働	20	3 NPO法人農の里	ソバ栽培などの提携/ボランティア	20	4 NPO法人 泉北そば打ち普及の会	そば打ち指導・そば粉製粉などの協働	20	5 綿利製粉	そば打ち指導・そば粉製粉などの協働	20	6 関西みやこ蕎麦遊会	そば打ち指導・そば粉製粉などの協働
団体名	役割	人数(人)																							
1 北区子ども子育てプラザ	「300人ふるまい蕎麦・親子そば打ち体験」共催	20																							
2 和泉蕎麦倶楽部	そば打ち体験・ソバ栽培などの協働	20																							
3 NPO法人農の里	ソバ栽培などの提携/ボランティア	20																							
4 NPO法人 泉北そば打ち普及の会	そば打ち指導・そば粉製粉などの協働	20																							
5 綿利製粉	そば打ち指導・そば粉製粉などの協働	20																							
6 関西みやこ蕎麦遊会	そば打ち指導・そば粉製粉などの協働	20																							
スケジュールと具体的内容	<p>●2016年度の年間スケジュールと具体的実施内容 (いつ、どこで、何人の対象者に、何を、どのように実施するのか?)</p> <p>※ 事業の対象者(受益者)の世代や全体の参加人数等が分かるよう、可能な限り具体的に記載して下さい。日程が確定していない場合は、○月○日(予定)と書き添えてください。</p> <p>※ 収まらない場合は任意の書式で結構ですので、別様で添付願います。</p>																								
	実施予定日	実施場所	対象者	人数	実施内容																				
	4月～翌3月	貸し会議室	当該事業関係責任者	10	「そば育」を実施のための連絡会議等																				
	3月末日まで	貸し会議室	当該事業関係責任者	10	実施計画書作成																				
	4月10日(予定)	中崎交流の場 ともえみサロン	地域の老若男女	12	「そば育」活動事業																				
	5月8日(予定)	中崎交流の場 ともえみサロン	地域の老若男女	12	「そば育」活動事業																				
	6月12日(予定)	中崎交流の場 ともえみサロン	地域の老若男女	12	「そば育」活動事業																				
	7月10日(予定)	中崎交流の場 ともえみサロン	地域の老若男女	12	「そば育」活動事業																				
	8月14日(予定)	ともえみサロン 農の里	地域の老若男女	12	「そば育」活動事業+ソバ・辛み大根種蒔き																				
	8月20日(予定)	北区子ども子育てプラザ	地域の子供・高齢者	300	ふるまい蕎麦+そば打ち体験																				
9月11日(予定)	ともえみサロン 農の里	地域の老若男女	12	「そば育」活動事業+ソバのお花見・草取り																					

10月9日 (予定)	ともえみサロン 農の里	地域の老若男女	12	「そば育」活動事業+ソバの収穫
11月13日 (予定)	ともえみサロン 農の里	地域の老若男女	12	「そば育」活動事業+ソバの脱穀
11月中旬	貸しイベント会場	広く公募	200	「新そば」振る舞いイベント
12月11日 (予定)	フードラボ本社	地域の老若男女	10	「そば育」活動事業+だしの取り方研究
12月末	貸しイベント会場	広く公募	200	年越しそばイベント
1月15日 (予定)	中崎交流の場 ともえみサロン	広く公募	20	「そば育」事業普及活動
2月12日 (予定)	中崎交流の場 ともえみサロン	広く公募	20	「そば育」事業普及活動
3月12日 (予定)	中崎交流の場 ともえみサロン	広く公募	20	「そば育」事業普及活動

(次ページに続く)

書式1-2 (単年・複数年助成 共通)

職員 人件費	<p>●職員人件費を申請している場合は、受給者の業務内容を詳細に記載して下さい。 今までは、あくまでボランティアとして、会員の自主的なお手伝いで運営してきましたが、事業を拡大するにあたり、しっかりと責任を持って、予算や会員スケジュール、設備の管理などを把握するためにも「有償での非常勤職員」を設置することにしました。 時給1,000円で必要時に事務所に詰めてもらい、会員情報の管理、イベント等の企画、申請、スケジュールの伝達などに当たってもらいます。</p>
事業 実施 の 効果	<p>●この事業の受益者は誰であり、その方たちがこの事業で得た成果は地域社会にどのような効果をもたらすとお考えですか。(500字程度) ※500字を大きく超えた入力をする、入力内容が消えてしまいますのでご注意ください。 当事業により、地域の方々の「地域」や「交流」に関する意識が変わると確信しております。</p> <p>最近、今まで参加して頂いた方々やご家族から、「単に子供に体験させるのではなく、自分もそば打ちを楽しめて、そのうえオイシイ!」「そば打ちするようになって子供が明るくなった」「おじいちゃんの認知症が軽減した」というような声をよく聞きます。また「食べ物に対する考え方が変わった」「いただきます」という言葉の意味がちゃんと解った」「日々の所作ふるまいに気を使うようになった」などと言う声も…。</p> <p>さらに、「私たちも、敬老センターや身体の不自由な方の施設を訪問してみたい」「もっと定期的に習って、そば打ちの認定段位を取得し、多くの人々に教えたい」と、地域間交流や異世代交流・ボランティア活動への関心・意識が変わって来ていることを実感しています。</p> <p>しかし、なかなか設備や人材が揃わず、参加に関してもキャンセル待ちをして頂いているのが現状で、当申請による事業拡充により、より多くの皆さんに参加して頂き、地域の皆さんの活動に関する意識がますます深まることと思います。 そして、町に子ども達の「美味しい楽しい笑顔」が増え、地域社会に明るい未来をもたらせてくれるものと確信しております。</p>
助成 ##	<p>●助成期間終了後、どのように発展・展開させていこうと考えていますか? 会員拡大により、参加費は増え、会場費の負担も減り、材料費や道具レンタル費も軽減されることにより、より参加しやすくなりますので、もっと便利で広い場所に、そば打ち専用の会場を設置出来ればと考えております。また、収穫～乾燥～脱穀…というソバ栽培も、なかなか現地に赴けない人達の為に、スマホを使った遠隔観察システムも構築したいと思います。さらには、次年度への取り組</p>

期間終了後の展望

みとして、「子ども達用のそば打ちが学べる教材ビデオ」を作成したく思っています。
 そんなに大層な設備がなくても、ご家庭にある道具で、気軽に打てるコツを伝授する、解りやすい内容のビデオを、子ども達と一緒に相談しながら作成して行きます。
 ●事業を継続するにあたっての、収支の見通しについて記載して下さい。
 今までは、ボランティアサークル気分の延長で、全てのイベントが「手弁当/持ち出し」の状態、半分はアマチュアリズムで活動していた傾向があるのですが、これを機に、ちゃんと社会で通用する「プロとしての社会事業」が出来るようになると思います。
 よって、今まで避けてきた「有償の本事業担当職員」も設置し、予算管理・会員管理もしっかりと行って行きますので、より多くの浄財の獲得も可能になると算段しております。

(継続助成を希望する場合は、次のページの書式1-3にもご記入下さい。)

書式1-3(複数年助成のみ)

※2年目以降の事業概要・計画	★複数年の助成を希望する場合、2年目以降の事業概要・計画を具体的に記載して下さい。 (誰が、誰に、何を、どういう方法で、実施するのか?)				
	誰が		誰に		
	何を				
	どう い う 方 法 で 実 施 す る の か?				
※2年目以降のスケジ	★2年目以降のスケジュールと具体的実施内容 (いつ、どこで、何人の対象者に、何を、どのように実施するのか?) ※ 事業の対象者(受益者)の世代や全体の参加人数等が分かるよう、可能な限り具体的に 記載してください。収まらない場合は任意の書式で結構ですので、別様で添付願います。				
	実施予定 (年/月)	実施場所	対象者	人数	実施内容

ルールと具体的内容				

(次ページに続く)

書式1-3(複数年助成のみ)

※2年目以降の事業特性	<p>★複数年事業の特性(該当する項目の番号左横に●印を付けてください)</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 1年目から実施しているが、事業の目的達成に複数年を要する事業</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 1年目から実施している事業を改善・発展させた事業</p> <p>★上記で、1を選んだ場合の複数年に亘って助成が必要な理由を、2を選んだ場合の改善・発展させた内容を具体的に記載ください。</p>
	<p>※2年目以降の事業を継続又は改善することにより、受益者ひいては地域社会へどのような発展した効果を提供できるとお考えですか？(500字程度)</p> <p>※500字を大きく超えた入力をする、入力内容が消えてしまいますのでご注意ください。</p>

<p>事業実施の 効果</p>	
<p>※継続助成期間終了後の展望</p>	<p>★複数年の継続助成期間終了後、どのように発展・展開させていこうと考えていますか？</p> <p>★事業を継続するにあたっての、収支の見通しについて記載して下さい。</p>

(次のページのアンケートにご協力下さい。)

【アンケート】

<p>アンケート</p>	<p>●本助成事業について、ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。 私たち団体の為にご用意戴いたかと思うほど、有り難い助成事業であります。 今までは、「他所様からお金を戴く事」に抵抗感があり、何をするにも手弁当のこじんまりとした活動でしたが、貴助成事業の申請をさせて戴いたことが、「助成金申請」への意識が変わるキッカケに成りました。今後の活動の輪をより広げる為にも、しっかりとした事業計画を立て、広く寄付金や助成金を活用させて頂けるNPOを目指す所存であります。</p> <p>●本申請書(書式)について、ご意見をお聞かせ下さい。 質問形式に答えるカタチにして戴いて、助かりました。 思ったより難しくなく、解りやすいガイドも付けて頂いて、とても記入し易かったです。 また、エクセルで計算されるので、検算等々も簡単で楽でした。ありがとうございました。</p>
--------------	--

(以上)

JT NPO助成 申請事業 収支見込書

【収入】

※補助金、寄付金、助成金等は、申請中または見込みも含めて記入して下さい。

項目		金額	内訳(算出根基)
自己資金		510,000 円	参加費3,000円×160人 イベント収入30,000円
国、地方公共団体からの補助金等		円	
民間機関から※	寄付金	円	
	協賛金	円	
	助成金	790,000 円	全国税理士共栄会文化財団(申請中) 損保ジャパン日本興亜福祉財団(申請中)
JTへの申請金額	金額	1,495,000 円	※合計金額の80%以内。 ※「計②」の金額が自動で入ります。
	助成金比率	53.5 %	※JTへの申請額÷合計金額×100 ※自動計算で入ります。
合計		2,795,000 円	※申請事業に係る収入合計額

※他の助成金、補助金などについて

今回申請事業について現在申請中または決定した、JT助成金以外について記載下さい。

なお「状況」欄は、現在申請中か既に決定済みかを選択してください。

状況	助成団体・交付団体名	実施期間	決定または決定予定時期	金額
<input checked="" type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 決定済	公益財団法人 全国税理士共栄会文化財団	2016年4月 ～ 2017年3月	2016年2月	49万円
<input checked="" type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 決定済	損保ジャパン日本興亜福祉財団 NPO基盤強化資金助成	2016年4月 ～ 2017年3月	2016年2月	30万円
<input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 決定済		～ 年 月	年 月	万円
<input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 決定済		～ 年 月	年 月	万円

(次ページに続く)

【支 出】

支出の費目は、自己資金等で充当する部分と申請金額で充当する部分に分けて記載して下さい。

① 自己資金等

項 目	金 額	内 訳 (算出根基)	
自己 資金 等	職員人件費	円	
	賃貸料	30,000 円	合同会議/会議室使用料10,000円×3回
	会議費	90,000 円	会議30,000円×3回
	謝礼	150,000 円	講師ボランティア謝礼3,000円×50人
	申請費用	200,000 円	届け出費用100,000円 申請関連費用100,000円
	賃借料	583,200 円	事務所家賃43,200円×12か月 教室・ともえみサロン5,400×12か月
	旅費交通費	50,000 円	機材運搬費
	管理費	120,000 円	光熱費他10,000円×12か月
	その他	76,800 円	事務費/図書費など
	計 ①	1,300,000 円	※収入欄の「自己資金」+「補助金等」+「寄付金等」の金額と一致

(次ページに続く)